

重要5項目維持 国会議員に要請

TPPで県内JA

県農協農政連盟と県内JAグループの代表ら11人は、都内で県選出の自民党国会議員7人に対し、22日からシンガポールで始まる環太平洋連携協定(TPP)交渉の閣僚会合で重要な農産物の関税維持を求める緊急要請を行った。写真。

衆参の農林水産委員会や自民党がコメ、麦など日本の重要5項目を守ることを政府に求めた決議を順守するよう要請、県内JAグループなどの主張を説明した。JA岐阜中央会の岡田忠敏会長は「TPP交渉では、自民党や国会の決議を必ず守ってほしい。政府が拙速で安易な妥協を行わないことを固く信じている。牛肉、豚肉の関税を引き下げるという報道もあり、地元の生産者は心配している」と訴えた。

野田聖子自民党総務会長は「農畜産物の関税についてはまだ何も決まっていない。現場の皆さんの声を大切に、党の決議を踏まえた交渉を行うように政府に働き掛けていく」と応えた。(鷲見進)

